令和７年（２０２５年）３月号⑪

学校通信

和の光

宝塚市立西谷中学校

式辞

校庭の木々の芽が膨らみ始め、生命が躍動する春の到来を感じる季節となりました。
今日のよき日に、宝塚市立西谷中学校第７８回卒業証書授与式を挙行できますことを大変嬉しく思います。
卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
今、皆さん一人ひとりに卒業証書を授与いたしました。
皆さんは小・中学校９年間の義務教育をここにいる仲間と過ごし、楽しさや喜びを共有し、時には困難なことや投げ出したくなることも力を合わせて乗り越えてきました。その証が「卒業証書」です。
今一度、手にした卒業証書の重みを感じて欲しいです。

さて、皆さんにとって、西谷中学校での３年間はどのような学校生活だったでしょうか。人生の中でも、中学校で過ごす３年間は心と身体が飛躍的に成長するときであり、多くのことを吸収できる大切な時期だと言われています。
私は、みなさんと一緒に過ごしたのはわずか２年間でしたが、物事を常に前向きにとらえて前進するみなさんと過ごす中でたくさんの思い出ができました。ここで、少し振り返ってみたいと思います。

５月、沖縄への修学旅行は大変思い出深いものになりました。初めて飛行機で沖縄に行けること、中学校生活で最後となる宿泊行事でもあり、皆さんの心は何日も前からワクワクしていたことと思います。
初日は、平和祈念公園で沖縄戦の悲惨さについてお話をきいたり、ガマに入ったりしました。自分たちの目と耳で命や平和の尊さを実感する機会になり、いま世界で起きている紛争や戦争が一日も早くなくなることを祈りました。
２日目、民泊でお世話になった家族の皆さんとのお別れで涙を流す場面もありました。わずか一晩の宿泊でしたが、心温まるおもてなしを受けたようです。その後、ビーチに移動し、クラスのみんなとバナナボートに乗ったり、海水浴をしたりと、沖縄の豊かな自然を満喫することができました。また、ホテルでは夜遅くまで学級レクで盛り上がり、沖縄での思い出の一コマになりました。
そして、最終日の班別行動、仲間と相談しながら、国際通りでお土産を買ったり、食事をしたりする姿を見ていると、みなさんの絆の深さを感じ、これからの学校生活が楽しみになりました。
６月、西谷ふれあい運動会では、最高学年として、年下の園児や小学生をリードし、全員の力を合わせて躍動感に満ちた演技をたくさん披露してくれました。市内で一番小さな学校ですが、どの学校にも負けることがない素晴らしい運動会になりました。
１０月、文化発表会では、自分たちから「書道パフォーマンスを是非やらせて欲しい」という声があがりました。そのことを知った私はとても嬉しかったです。
ＳＥＫＡＩ　ＮＯ　ＯＷＡＲＩの曲「最高到達点」、ＭＲＳ．ＧＲＥＥＮ　ＡＰＰＬＥの曲「コロンブス」に合わせて、１９人が心を一つにして、感動的なパフォーマンスを披露しました。
みなさんの姿を見た後輩には、自分の弱さに負けることなく目標に向けて駆け抜ける勇気の大切さ、未だ見たことのない絶景を見るために出会いと別れを通して成長することの大切さが伝わったと思います。また、書道パフォーマンスが西谷中の良き伝統として受け継がれていくことと思います。
１２月、いよいよ中学校卒業後の進路を決める時期になりました。
どの学校へ進学するのかを決める中で、自分の思いと現実の違いから、悩んだり、時には落ち込んだりした時もあったと思います。それでも皆さんの周りには志を同じにする仲間、担任の先生をはじめとするたくさんの先生方、そして何よりも皆さんを温かく見守り支え続けてくれた家族がいたことを忘れないでください。

さて、卒業生の皆さんに、西谷中学校長として、最後のお話をします。
現代を生きる私たちに欠かせないものの一つにスマートフォンがあります。電車に乗り、見渡すとほとんどの人がスマートフォンの画面を注視しています。デジタル技術の進化に伴い、日常の当たり前の風景になっています。日本のスマートフォンの歴史を振り返ると、卒業生の皆さんが生まれるちょうど１年前、2008 年７月に日本で初めて iPhone が発売され、日本中でスマートフォンが使われるようになりました。今日は、卒業する皆さんに、この iPhone を作った Apple 社の創業者スティーブ・ジョブスの話を紹介します。
1996 年、業績不振に瀕していた Apple 社の経営陣は、首にした創業者のスティーブ・ジョブスを再度呼び戻しました。ジョブスは、「Think different.」という「固定概念に縛られず、物の見方を変え、新たな発想で物事を考えていこう。」というキャンペーンを打ち出しました。実際には、当時主流であったベージュ色で箱型の配線ケーブルだらけになるパソコン市場に、丸みを帯びた形状で中身が透けて見えるボンダイブルーの iMac を世に送り出しました。消費者の固定概念を変え、新しい購買層を増やし、Apple 社を復活させました。そして、次から次に新しい発想の新製品を開発し、iPhone でさらに世の中を変えたのです。
この Think different.は、単なるスローガンではなく、未来に生きる皆さんへの指針ともいえます。皆さんがこれから生きていく未来は、不安定で、不確実で、複雑で、曖昧な VUCA の時代と言われ、未来がどうなるのかはっきりわかりません。しかし、そこには未知の可能性やチャンスが広がっています。
昔から受け継がれてきた型や伝統を守り継承することも大切ですが、過去の経験や今ある社会の枠組みに縛られることなく、「異なる」ことを恐れず、新しい発想でチャレンジしていくことがあるでしょう。その時こそ、「Think different.」と自分が世界を変えられると本気で信じて行動してください。常に新しい異なる視点から物事を見つめ、創造的な解決策を見出し、「失敗は成功のもと」とポジティブな思考でチャレンジしていくことが、皆さんの可能性を広げることに繋がるはずです。
そこで、皆さんに最も大切にしてほしいものは「時間」です。時間は、お金がかからず、誰もが平等に持つことができ、最も貴重なものといえます。未来に生きる皆さんには、人生の時間は無限にあるわけではないことを自覚し、限られた貴重な時間を自分に投資し、自らを豊かにする学びや経験をできるだけ数多くしてほしいと思います。まだ失うものが少ない今の若いうちにこそ、自分が好きで夢中になっていることに全力を注いでください。今の自分にはあまり必要とは思っていない勉強であっても、将来役立つ起点の一つになるかもしれないとポジティブに捉え行動してみてください。何事も「やらない後悔より、やる後悔をする」くらいの気持ちで「頑張るときはいつも今」と自分を鼓舞し、時間を大切にして、自分磨きの地道な努力を続けていってください。

しかし、あまり気負いすぎないでください。困った時には、一度立ち止まり、周りの仲間や家族、西谷中の先生方、そして私に相談をしてください。皆さんのことは、いつまでも応援しています。

次に、保護者の皆様に一言、お祝いを申し上げます。お子様のご卒業、誠におめでとうございます。今から十五年前、子どもたちは、ご両親から一つの命（いのち）を授けられました。その命は、今、頼もしく燦然（さんぜん）と輝きをはなとうとしています。お子様の晴れ姿に感慨もひとしおのことと思います。本日を人生の節目として、今後とも立派に自立され、個性豊かな人間として成長されますよう、心からお祈り申し上げます。

また、西谷中学校の教職員一丸となって、子どもたちの成長を見守りつつ、精一杯努力したつもりではありますが、至らない点もあったと思います。それにも関わらず、私たちにお寄せくださいましたご理解とご協力に対して厚く御礼申し上げます。

さあ、卒業生の皆さん、いよいよ旅立ちの時です。皆さんと過ごしたこの２年間は、私の人生においてかけがえのないものであり、みなさんと出会えたことを誇りに思います。
ふる里西谷で学んだことを誇りに思い、この素敵な仲間たちと過ごした喜びを胸に刻んで、これからの人生を歩んでください。

名残はつきませんが、以上を、巣立っていく皆さんへの言葉といたします。

卒業おめでとう。しっかり前を向いて、胸を張り、明日に向かって進んでください。

令和７年（２０２５年）３月１４日
宝塚市立西谷中学校長
筒井　啓介

在校生から送辞

在校生から合唱

巣立ちのことば

卒業生入場

卒業証書授与

巣立ちのことば